

2022 秋号
vol. 128
広報誌

60th
Shimada Hospital

躍進

やくしん

題字：前理事長 嶋田 國重

特集

- 地域連携講演会
- 整形疾患について



撮影/大刀洗の田園と甘木鉄道



Facebook



Twitter



Instagram

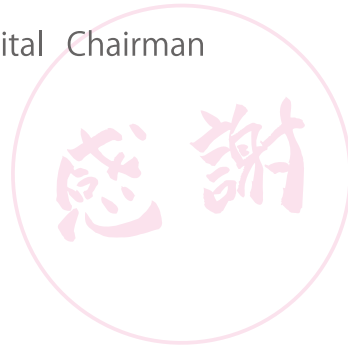
フォローをお願いします。



社会医療法人シマダ



Hospital Chairman



会 長

島田 昇一郎

新型コロナウイルス感染症は、2020年初頭から現在まで2年10か月に及び続いています。感染者の増減を繰り返し、今回一番感染者数が多くなった第7波もようやく減少傾向の兆しを見せています。しかし、これから寒い季節となり日本の裏側の国であるオーストラリアでは今年7月から8月にかけて新型コロナウイルス感染症とともに従来のインフルエンザウイルスの同時感染症が増加したとのことで、日本でもコロナウイルスに対する新たなオミクロン株に効果のあるワクチン接種とともにインフルエンザワクチンの同時接種がすすめられています。新型コロナウイルス感染症については発症当時に比べて、様々なことが分かってきて最初の頃のような未知の感染症に対する恐怖感は薄れてきましたが、今後もウイルスの変異を繰り返しながら季節性の感染症となっていく可能性が高いのではないかと考えられています。

さてここで現在の高齢化社会に目をやってみると、10数年前から言われてきた団塊の世代の方々がすべて75歳以上となる2025年がもう間近となっており、現在も高齢化率は年々増加し、コロナ禍の中で医療機関はコロナ対応に追われ気づかれにくいことですが、日本人の疾病構造や患者さんの医療機関への受療動向もコロナ前とはずいぶん変わってきています。国はコロナ禍の中でも高齢社会に対する医療提供体制の構築をある部分では粛々と進めてはいますが、やはり大事なことは医療関係者だけではなく、住民の方々も社会の変化を理解し、限られた医療資源を有効に活用する医療提供体制の在り方を共に考えていかねばならない時に来ていると感じます。コロナ禍の中で起こった救急搬送困難事例の増加や、発熱患者さんがすぐに受診できなかった状況はこれからの高齢化社会の中でも問題となってきます。嶋田病院も住民の方々が住み慣れた場所で人生の最後までを迎えられるよう、今までの「治す医療」だけでなく、「治し支える医療」に力を入れていくつもりです。

令和4年10月

第200回 地域連携講演会開催



2022年8月22日、地域連携講演会開催が200回を迎えました。

「顔の見える連携」を目指し、地域の先生方と共に、この連携講演会を築いて参りました。数名の先生と症例検討会さながらの会から始まり、今回記念すべき200回目に多くの方に、ご参加いただきました事を感慨深く思います。

今後も試行錯誤を重ね、地域の先生方や医療従事者の皆様、介護施設従事者の皆様と、共に学べる場、情報交換の場として、この地域連携講演会を発展させてまいります。



第200回記念として、島田昇二郎会長より先生方や地域の医療・介護従事者へご挨拶をさせて頂いたあとに、シンポジウムを行いました。

シンポジスト

やなぎ医院(大刀洗町)	院長 柳 純二 先生
田中クリニック(美鈴が丘)	院長 田中 英二 先生
まどかファミリークリニック(あすみ)	院長 田中 光樹 先生
西原内科・循環器科医院(小郡)	院長 西原 通秀 先生

テーマは当地域でも今後大きな課題となる「在宅医療」について。長年、在宅医療に携わってきた柳先生を中心に活発に議論が展開されました。

また多くの医療機関の職員の方々も、それぞれの業務の後に集まって頂いたほか、Web上でも配信させて頂いた結果、総勢89名の方にご参加頂きました。
この場をお借りして御礼を申し上げます。

今後も当地域の方々が安心して暮らしていただけるように、地域の医療・介護事業所と共に連携強化がより必要になってきます。
この連携講演会を通し地域医療に貢献していきます。



司会 / 嶋田病院
西村 一宣 院長

整形疾患について

～整形疾患は様々な領域があり、それぞれに専門性があります～



整形疾患

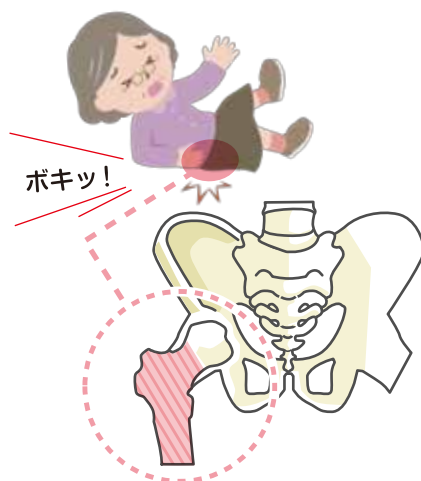
おもに、腰痛、背中の痛み、首の痛み、肩・膝・股関節といった**関節の痛み**、変形、腫れ、怪我、手や足の痺れ、動かしづらさ、スポーツに伴う痛みやしびれ・けがなど**運動器**(骨、関節、筋肉、腱、靱帯、神経など「体を動かす」ことに関わる組織全て)の**けが**や**病気全般**を扱います。

骨折中で最も気をつけたい高齢者の転倒時に多い「大腿骨近位部骨折」

大腿骨近位部骨折とは、足の付け根部分の骨折の総称になります。転倒など外部からの強いエネルギーが加わることで骨折し、同時に痛みが強く現れるため救急搬送で来院される場合も多いです。

当院でも2021年度だけでも130例の手術を行っています。

高齢者が多いため合併症も多い手術ですが、当院は重篤な合併症もなく安全な手術を行えています。



転倒時に骨折しやすい
大腿骨近位部骨折の箇所

転倒したら早めの受診を ...

大腿骨近位部骨折の治療は早期に開始することが必要です。

当院では以前よりなるべく早期に手術が出来るように体制を整え、早期手術が望ましい大腿骨転子部骨折に対しては、来院から手術室搬入まで平均36時間。76%の患者さんが48時間以内に手術を行えています。しかし、患者さんによっては「転倒してしまったが、しばらく様子をみよう」というケースも見受けられます。



高齢者が転倒した後は、痛みが比較的軽い場合や夜間・休日でも、ためらわず救急車を呼んで病院を受診してください。

その結果、骨折が無ければそれで良いですし、診断が遅れると患者さん自身の苦痛が長く続きます。また時間がかかるほど合併症のリスクも高まります。



整形外科部長

うえだ ひろや
植田 博也 医師

【資格】

日本整形外科学会専門医



整形外科 / 常勤医

もり た しゅうさく
森田 周作 医師

2025年は約800万人いる団塊の世代が後期高齢者(75歳)になることから、国民の4人に1人が後期高齢者という超高齢化社会を迎えます。



社会保障費の増加が懸念されていますが、健康寿命を延ばすことが重要とされています。

フレイルについて

健康寿命を延ばす上でポイントとなるのが「フレイル」です。

フレイルとは加齢により筋肉量が減少すると活動量が減り、エネルギー消費量が低下します。食欲が低下し体重や筋肉量が減少すると、さらに活動量が減り悪循環に陥ります。この状態をフレイルといいます。

日々の活動量を増やすためにも、整形疾患を改善することが非常に重要です。



筋肉量が少なくならない様、適度な運動を心掛けましょう！

大腿骨近位部骨折以外の疾患も幅広くカバーしています。

腰痛・神経痛や頸部痛などを発症する脊椎・脊髄疾患

脊椎(せきつい)とは背骨の骨そのものを指します。その背骨の中に太い神経が通っていますが、それを脊髄(せきずい)と呼びます。

脊椎・脊髄は非常に幅広い症状が出ます。腰痛や頸部痛・神経痛・しびれ・手足の運動麻痺・歩行障害など。



土曜日非常勤の幸 博和医師は、「日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医」の資格を持ち適切な診断を行います。



脊椎・脊髄 / 専門医

さいわい ひろかず

幸 博和 医師

【資格】 (九州大学病院)

日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会
認定脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会指導医

膝の専門医

膝の痛み・機能障害は歩行の妨げになります。そのため外出を控えるようになり、引きこもることで悪循環に陥るケースも少なくありません。

そのため膝の治療は適切に行うことが必要です。木曜日 非常勤の市村竜治医師は膝を専門として診察・治療を行っています。



膝 / 専門医

いちむら りゅうじ

市村 竜治 医師

【資格】

日本整形外科学会専門医
日本人工関節学会認定医
日本 DMAT 医師

スポーツ障害について

スポーツによって関節、靱帯などに繰り返し外力が加わることで引き起こされる疾患です。

様々な疾患はありますが、軽度の場合には運動を調整することで改善も見込めます。しかし重度になると十分なパフォーマンスが発揮できずにスポーツが出来なくなる可能性もあります。まずは早期に治療をすることがご自分のためにもなります。



整形外科一般・ スポーツ障害

しまだ

てつろう

島田 哲郎 医師

my home town ,
my home doctor
マイ ホーム タウン、マイ ホーム ドクター

私たちの町の施設紹介

こやなぎ内科循環器科 クリニック

院長 小柳 毅先生

〒841-0024 佐賀県鳥栖市原町1077-3
Tel:0942-81-5424 Fax:0942-81-5434

診療科目/循環器科・内科・呼吸器科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:30	○	○	○	○	○	○	／
15:00~18:00	○	○	／	○	○	／	／

休診日/日・祝日



貴院の紹介をお願いします

17年前の2005年12月に開業しました。開業前には、循環器科医として嶋田病院にお世話になっていました。

開業当初、「循環器科って何の病気をみてもらえるの?」という患者さんからの質問が新鮮でした。勤務していたときは、循環器の病気(狭心症、不整脈、高血圧など)と判っている患者さんの診療が主でしたが、今では仕事上のストレスや普段の生活等のお話を聞いた上で、患者さんがどういうことで受診されたのかを大切にしながら診療にあたっています。

また、在宅医療の研修施設として大学病院から学生さんを受け入れています。認知症患者さんへのケア技法(ユマニチュード)、患者さんの意思決定支援プロセス(ACP)など…。私の学生時代には聞いたこともない様な事ばかりで、今でも勉強の毎日です。

先生の趣味・特技は?



診療後には、妻とウォーキングしながら体調管理を行い、その日の振り返りをしています。近場への避密の温泉や、写真が趣味です。医療関連以外のYou Tubeを見することも最近の楽しみの一つになっています。

小柳 毅先生

インフルエンザ予防接種

ご予約受付中!



今年度のインフルエンザ予防接種が開始しています。
コロナウイルスと共に流行する可能性があり、併発すると非常に危険と言われています。
流行する前に接種することが重要です。ぜひお早めの接種をお勧めします。

2022年10月1日~2023年1月31日まで

◆小郡市・大刀洗町在住



接種時年齢

65歳以上の方

1,500円(税込)

2022年10月中旬~シーズン終了まで

◆助成を受けられない方



全額自己負担

3,600円(税込)



コロナワクチン接種証明書をご持参ください

- ◎新型コロナワクチン 1回目・2回目の間には接種できません。
- ◎新型コロナワクチン接種より **2週間以上間隔を空ける必要**があります。



ご予約
方法

方法1 診察時に医師に申し出る(原則本人分のみ)

方法2 お電話にて**予約0942(72)2236**

月~土曜日 14時~17時の間にお掛けください

接種曜日・時間

木曜日 15時~16時

※当院で接種できる年齢は原則中学生以上です。小学生以下のお子様は他医療機関にて接種ください。
※今年度は新型コロナウイルスの影響もあり例年以上に供給が見通せません。
予約されてもワクチンの入荷が困難な場合があります。予めご了承ください。



10月はピンクリボン月間



女性のがんで一番多いのが「乳がん」です。いまや日本人の女性9人に1人が乳がんを発症すると言われています。世界的にも乳がんは増えているため、乳がんで命を落とす人が一人でも少なくなるように、世界中でピンクリボンはシンボルマークとして認知されています。ぜひ、この機会に乳がん健診を受けられてはいかがでしょうか？

11月30日までの特別価格 マンモグラフィ乳腺超音波検査キャンペーン

♥ マンモグラフィ + 乳腺エコー検査
通常価格:6,600円(税込)
5,500円(税込)

♥ マンモグラフィ単独検査
通常価格:3,850円(税込)
3,300円(税込)

+ ご予約方法 +

健診センター「アクア」

※AQUA

1. ネット予約 (24時間受付可)

嶋田病院 ドック

Q 検索



予約

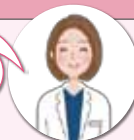


2. 電話予約 ☎ 0942-72-2375

お電話のご予約は、月～土曜日
14時～17時の間にご連絡ください。

- ♥ 他コースと組み合わせて受診をして頂くことも可能です。
- ♥ 当日に空きがある場合は当日検査が可能です。
- ♥ 親しい人へのプレゼントとしてもご利用可能です。ご予約時にご相談ください。

ご安心ください！
女性スタッフ
が対応します!!



1 女性のがんで1番多いのが乳がんです
年間約9万人(2018年度)の女性が発症しています

2 乳がんは2つの発生ピーク時があります
40～49歳、60～65歳までの女性の方が多く発症します

9 人に1人が乳がんを発症します



90 %以上の方が治るがんです
早期(ステージI)の場合の、5年生存率は90%以上です

シマダのチカラ

「シマダのチカラ」では嶋田病院を支える
スタッフを紹介していきます。

セラピストになりたいと 思ったきっかけはありますか？

学生の頃、部活が野球で肘を剥離骨折した際に理学療法士の職業を知りました。また、野球ができるようになったことで自分も将来は人のサポートができるような仕事をしたいと思いセラピストの道に進むことを決めました。

第18回

リハビリテーション部で活躍している
運動器認定理学療法士 藤田 俊英さんに
インタビューしました。



Profile

藤田 俊英さん
(ふじた としひで)

出身地 福岡県田川市

勤務年数 4年5ヶ月

趣味・特技・休日に行っていること

趣味：釣り（イカ釣り）



リハビリをおこなうときに これだけは注意している！と いうことはありますか？

栄養面です。特に急性期では絶食中の方や食事摂取できないような患者さまがいますので運動負荷や運動内容については注意を行い介入を行っています。近年、サルコペニア・フレイルの高齢者が増加してきていますのでリハビリも運動だけではなく栄養面にも気を配るようにしています。

藤田さんのオススメ！いつまでも元気でいられる トレーニングや体操があれば是非教えてください。

膝抱え体操です！10秒～15秒保持して頂きその間深呼吸を行ってください。心地よいと思う程度に腰の筋肉を伸ばすことがコツです。

デスクワークが増えてきた現代では腰痛を持っている方を非常に多く感じています。急性腰痛に関しては受診をして頂き鑑別が必要になるかと思いますが、慢性腰痛に関しては自己管理が重要だと思っています。膝抱え体操は寝ている状態で行うことに加え動作も少ないので簡易的に実施できます。高齢の方で自分で膝を抱えることが難しい場合は椅子などに両足を乗せるだけでも腰の筋肉を伸ばすことができます。脊柱管狭窄症の方などには痺れ改善などの効果もありますのでオススメです。

6月15日より健康保険証の代わりに マイナンバーカードで受診 できるようになりました。



オンライン資格確認端末(マイナンバーカードによる保険証確認)

◆ご利用可能時間/7:00~22:00

保険証と違って薬剤情報・健診情報も病院に伝えることができます。ぜひご利用ください。

ご自身の健康保険情報、薬剤情報・医療費通知情報、特定健診情報等がマイナポータルで閲覧できるようになります。

マイナンバーカードを健康保険証として利用するためには、初回登録を行う必要があります。

学術活動[講演実績] 令和4年7月~8月

日付	2020年7月8日
所属	診療部 医師
発表者	赤司 朋之
学会	薬剤師のための Live Web Seminar

日付	2022年8月19日
所属	診療部 医師
発表者	赤司 朋之
学会	第7回 糖尿病地域包括ケア研究会

日付	2022年8月27日
所属	診療部 医師
発表者	伊藤 洋
学会	第338回 日本内科学会九州地方会



※過去の講演会の様子

診療実績	2022年6月	2022年7月	2022年8月
新入院患者数	239人	286人	257人
救急車搬入数	207人	288人	282人
初診紹介数	427人	457人	443人
紹介率	67.0%	45.9%	36.1%
平均在院日数	9.6日	7.9日	8.1日



病院理念

1. 地域住民の方々が安心して暮らしていけるよう、広域の医療機関と連携し、質の高い医療を提供することにより社会貢献していきます。
2. 職員が物心両面において満足感と幸福を持てる病院をめざします。

基本方針 1.救急医療 2.住民の健康管理 3.地域連携 4.自己研鑽

【編集後記】みなさん、いかがお過ごしでしょうか？

厳しい夏も終わりましたが、体調にお変わりはないでしょうか？

今号は整形外科特集を組ませて頂きました。2025年には団塊の世代が75歳以上となり後期高齢者の人口が2,200万人にも膨れ上がり、超高齢化社会に突入する時代になります。

その中で整形疾患は身体が動きにくくなることで、普段の生活にさまざまな弊害が出てきます。特に高齢者になるとその傾向が顕著になります。

またその影響で外出を控えるようになると、意欲も低下し「フレイル」という状態に陥ることも問題視されています。

無理は禁物ですが、自分の出来る範囲の運動を適度に行っていく。まさに自分自身に言い聞かせている言葉です。みなさんと一緒に頑張っていきます。

【編集/広報委員 本間 翼】